

6 がん対策

〔現況及び施策の方向〕

第4次「がん対策推進計画」（令和6～令和11年度）に掲げる3つの分野（がん予防・がん検診、がん医療及びがんとの共生）を柱とした総合的な対策を実施する。

〔事業の内容〕

1 がんの予防・がん検診

(1) 生活習慣の改善、感染症対策等によるがん予防（1次予防）

ア 受動喫煙対策の推進（予算額 78 千円）

がん対策推進条例に規定する受動喫煙防止対策を推進するとともに、「健康増進法の一部を改正する法律」の普及・啓発を通じ、望まない受動喫煙が生じないように、対策の徹底を図る。

イ HPVワクチンの普及啓発（予算額 72 千円）

子宮頸がんの主な原因となるHPV（ヒトパピローマウイルス）への感染を防ぐHPVワクチンについて、知識の普及啓発を行う。

(2) がんの早期発見、がん検診（2次予防）

ア がん検診受診率向上対策事業（予算額 23,916 千円）

(ア) 職域がん検診推進事業（予算額 12,287 千円）

がん検診を実施していない協会けんぽ加入企業の事業主に対して、企業訪問を行い、検診の実施を促進するなど、職域におけるがん検診の受診勧奨を行う。（平成30年度創設）

(イ) 市町がん検診個別受診勧奨支援事業（予算額 11,629 千円）

職域の被扶養者への勧奨支援など、実際の受診行動につながる取組を推進する。（平成23年度創設）

第1表 がん検診の受診率

（単位：%）

年	区分	胃	肺	大腸	子宮頸	乳
令和7年	広島県	51.4	50.5	45.8	43.2	47.2
	全 国	51.2	52.4	48.5	46.1	51.0
令和4年	広島県	50.4	47.7	44.0	42.5	42.6
	全 国	48.4	49.7	45.9	43.6	47.4

（注）1 対象年齢は40～69歳（胃がん50～69歳、子宮頸がんは20～69歳）

2 肺・大腸がんは過去1年以内・胃・子宮・乳がんは過去2年以内の受診状況

【出典】国民生活基礎調査〔厚生労働省〕（3年に1度のサンプル調査）

イ がん検診精度管理推進事業（予算額 8,249 千円）

市町が実施するがん検診の精度向上のため、専門家による評価・助言、研修等を実施するほか、比較的侵襲性の高い胃内視鏡検査について、県内の市町が実施する胃がん検診における胃内視鏡検査の精度を一定に保つため、研修を実施する。（平成 23 年度創設）

第 2 表 県内市町が実施するがん検診の精度管理の状況（令和 5 年度）

（単位 %）

部位		胃	肺	大腸	子宮頸	乳
精密検査 受診率	広島県	90.9	78.5	69.9	72.3	88.0
	全国	86.4	82.7	67.6	78.0	90.6
精密検査 未把握率	広島県	5.3	17.2	20.5	24.0	8.1
	全国	8.6	10.9	18.3	16.1	6.5

【出典】厚生労働省「令和 6 年度地域保健・健康増進事業報告」

2 がん医療

(1) 広島がん高精度放射線治療センター管理運営費（予算額 279,864 千円）

平成 27 年 10 月に運営を開始した、広島がん高精度放射線治療センターについて、指定管理者による管理運営を実施する。（平成 22 年度創設）

第 3 表 施設利用状況

（単位 人）

利用 状況	年度	目標値（事業計画）	新規患者数	対前年度増減
	令和 7 年度	623	518	0
	令和 6 年度	709	518	▲131
	令和 5 年度	695	649	▲111
	令和 4 年度	704	760	134
	令和 3 年度	693	626	16
	令和 2 年度	693	610	▲76
	令和 元年度	643	686	109
	平成 30 年度	610	577	21
	平成 29 年度	602	556	27
	平成 28 年度	588	529	357
	平成 27 年度	259	172	—

（注）平成 27 年度は平成 27 年 10 月から平成 28 年 3 月末までの利用状況

(2) がん医療連携強化事業（予算額 88,907 千円）

ア がん診療連携拠点病院機能強化事業（予算額 84,000 千円）

がんの専門的医療の実施、地域のかかりつけ医等に対する研修、がん医療に関する情報提供などを行うがん診療連携拠点病院の機能強化を図るため、相談支援、研修に要する経費等について支援する。（平成 18 年度創設）

第4表 がん診療連携拠点病院機能強化事業の補助状況

(単位 か所、千円)

年 度	施 設 数	補助額 (予算額)
令和8年度	9	84,000
令和7年度	9	84,000
令和6年度	9	84,000
令和5年度	9	84,000
令和4年度	9	84,000
令和3年度	9	92,000
令和2年度	11	96,000
令和元年度	12	96,000
平成30年度	13	100,000
平成29年度	13	100,000
平成28年度	13	100,000
平成27年度	13	100,000

〔負担割合：国 1/2、県 1/2〕

第5表 がん診療連携拠点病院の指定状況

(令和8年4月1日現在)

指定区分		圏域名	病 院 名	指定年月日
国 指 定	県がん診療連携拠点病院	広 島	広 島 大 学 病 院	平成18年8月24日
	地域がん診療連携拠点病院	広 島	県 立 広 島 病 院	平成18年8月24日
			広島市立広島市民病院	平成18年8月24日
			広島赤十字・原爆病院	平成18年8月24日
			広島市立北部医療センター安佐市民病院	平成22年4月1日
		広 島 西	厚生連広島総合病院	平成18年8月24日
		呉	呉 医 療 セ ン タ ー	平成18年8月24日
		広島中央	東広島医療センター	平成18年8月24日
		尾 三	厚生連尾道総合病院	令和2年7月1日
		福山・府中	福 山 市 民 病 院	平成18年8月24日
			福 山 医 療 セ ン タ ー	令和2年3月27日
		備 北	市立三次中央病院	平成18年8月24日
県 指 定	がん診療連携拠点病院	呉	呉 共 済 病 院	平成22年11月16日

イ がん医療ネットワーク機能強化事業 (予算額 4,907 千円)

県民に最適ながん医療を提供するため、がん診療連携拠点病院を中心とした医療ネットワークの普及及び機能強化を図る。(平成23年度創設)

3 がんとの共生

(1) 緩和ケア推進事業 (予算額 1,867 千円)

がんと診断された時からの緩和ケア、住み慣れた地域における緩和ケアを受けることができる体制づくりを支援する。(平成16年度創設)

第6表 緩和ケア研修参加状況

(単位 人)

年度	医療者派遣研修	看護師研修	薬剤師研修	介護・福祉関係者研修
令和7年度	7	114	14	355
令和6年度	3	54	24	493
令和5年度	6	74	20	447
令和4年度	3	54	21	685
令和3年度	3	64	31	1,117
令和2年度	—	92	48	—
令和元年度	6	134	44	1,136
平成30年度	6	146	42	1,334
平成29年度	3	352	44	122
平成28年度	3	305	50	146
平成27年度	3	301	37	131

(2) がん患者・家族相談支援事業（予算額 9,627 千円）（平成20年度創設）

がん患者等と同じ立場で相談支援を行う人材としてがん経験者等をがんピアサポーターとして養成し、がん診療連携拠点病院等と連携した相談支援を実施していくとともに、「広島がんネット」や「がん患者さんご家族のためのサポートブックひろしま」により、がんに関する様々な情報を提供する。

また、企業及び医療機関におけるがん治療と仕事の両立支援体制の構築に向けた検討や、がん患者等の妊孕性（妊娠できる能力）温存療法及び温存後生殖補助医療に係る研究促進事業を行う。

第7表 がんピアサポーター養成状況

(単位 人)

年度	研修修了者数	累計数
令和7年度	—	53
令和6年度	7	53
令和5年度	—	46
令和4年度	—	46
令和3年度	7	46
令和2年度	—	39
令和元年度	—	39
平成30年度	8	39
平成29年度	—	31
平成28年度	6	31
平成27年度	10	25
平成26年度	15	15

第8表 がん患者の妊孕性温存療法及び温存後生殖補助医療治療費助成状況

(単位 人 (実人数))

年度	妊孕性温存療法			温存後生殖補助医療
	女性	男性	合計	
令和7年度	19	13	32	6
令和6年度	13	10	23	11
令和5年度	11	19	30	13
令和4年度	10	15	25	8
令和3年度	19	6	25	
令和2年度	10	11	21	
令和元年度	12	6	18	
平成30年度	21	7	28	

(注) 広島県小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業(令和3年度以降)及び広島県がん患者妊孕性温存治療費助成事業(平成30～令和2年度)における実績(温存後生殖補助医療の治療費助成は令和4年度から開始)

(3) Teamがん対策ひろしま推進事業(予算額 2,544 千円)

がんの予防・検診、治療と仕事の両立支援、患者団体等の支援に取り組む「Teamがん対策ひろしま」登録企業の拡大を図るとともに、その取組を支援し、地域全体でのがん対策を推進する。(平成25年度創設)

第9表 Teamがん対策ひろしま登録状況

(単位 社)

年度	登録企業数	累計数
令和7年度	25	235
令和6年度	23	211
令和5年度	21	188
令和4年度	27	167
令和3年度	30	140
令和2年度	12	110
令和元年度	18	98
平成30年度	29	80
平成29年度	14	51
平成28年度	12	37
平成27年度	11	25
平成26年度	14	14

(4) がん患者アピアランスケア推進事業(予算額 48,610 千円)

がん患者の心理的負担を軽減し、社会参画を促進するとともに、療養生活の質の向上を図るため、外見の変化を補完するウィッグの購入費用を一部助成するとともに、がん診療連携拠点病院等における相談支援・情報提供を促進する。(令和4年度創設)

第10表 がん患者のウィッグ購入費助成状況

(単位 件、千円)

年 度	件 数	助成金額
令和7年度	1,164	50,218
令和6年度	1,114	46,134
令和5年度	1,182	50,507
令和4年度	945	41,298